

GIGA校長研修 ガイダンス



G I G A 校内研修スタートブック
2 0 2 4



G I G A 校内研修の進め方
(参考資料)

「G I G A 校内研修ス
タートブック2024」
と「G I G A 校内研修の
進め方(参考資料)」を
合わせて見ると分かりや
すくなります！



本日の内容

校長先生に 行っていただきたいこと



校長先生

校長先生に行っていただきたいこと

ビジョンを構想 ▶▶ 共有 4月当初

研修申込を確認 締切 4月8日(月)

積極的な助言・支援 通年

GIGAスクール対応研修、GIGA校内研修 年間スケジュール

月	研修等 (太字…研修センターの研修 細字…校内)	校長	教頭	リーダー	職員
3月 22日	校長研修「校長の役割」(3/22~28) (オンデマンド配信)	◎			
年度当初	<input type="checkbox"/> ビジョンを構想 ▶▶ 共有 ・組織体制づくり ・年間計画づくり <input type="checkbox"/> 研修申込締切(4/8)	◎	◎	◎	◎
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践 副校長・教頭・部主事研修、推進リーダー研修(第1日) (ライブ配信) 「方向性の確認」 ※可能であれば、校長先生もご視聴ください	◎	○	◎	○
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践 推進リーダー研修(第2日) (ハイフレックス [ライブ配信または、集合型])	○	○	◎	◎
4月 22日	副校長・教頭・部主事研修、推進リーダー研修(第1日) (ライブ配信) 「方向性の確認」 ※可能であれば、校長先生もご視聴ください	○	◎	◎	
6月 17日	「デジタル・シティズンシップ」			◎	
7月 31日	「学習者用デジタル教科書」				
11月 5日	「個別最適な学びの在り方」				
12月 2日	推進リーダー研修(第3日) (研修センター集合型)			◎	
12月 3日	「他校との情報交換(取組報告)」				
2月 28日	実践報告	◎	○	◎	

ビジョンを構想 ▶▶ 共有 4月当初

※各校の教育課題に応じて、**1つ選択**する。

全職員に伝える ビジョンとは？



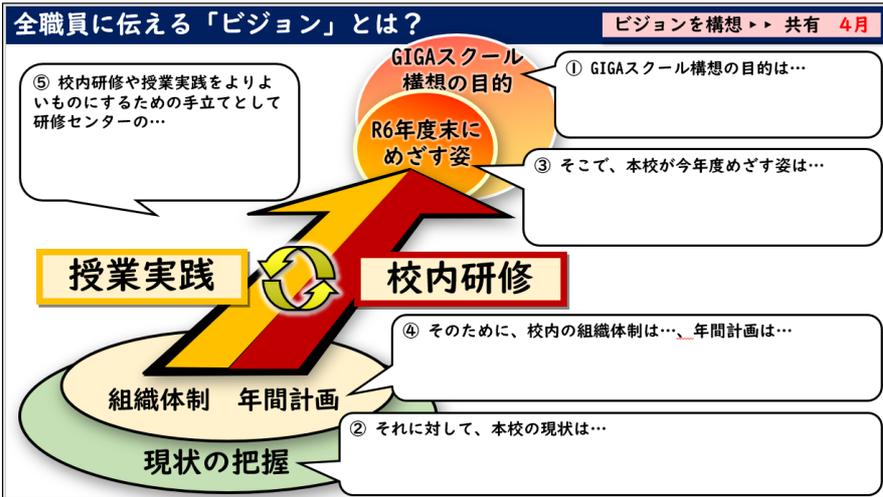
校長先生

全職員に伝える「ビジョン」とは？

ビジョンを構想 ▶▶ 共有 4月



4月に伝える ビジョンを明確にする



目次

【めざすもの】

1 GIGAスクール構想の実現に向けて……………p.2

2 学びの変容イメージ……………p.3

【組織体制づくり】

3 GIGA校内研修推進リーダーとは……………p.4

4 校内組織体制(例)……………p.5

【校内研修】

5 GIGA校内研修の内容(例)……………p.6

6 GIGA校内研修の持ち方(例)……………p.7

【年間計画と実践報告】

7 GIGA校内研修 年間計画の作成……………p.8

8 GIGA校内研修 実践報告の作成……………p.10

【研修センターのバックアップ】

9 GIGA校内研修推進リーダー研修……………p.11

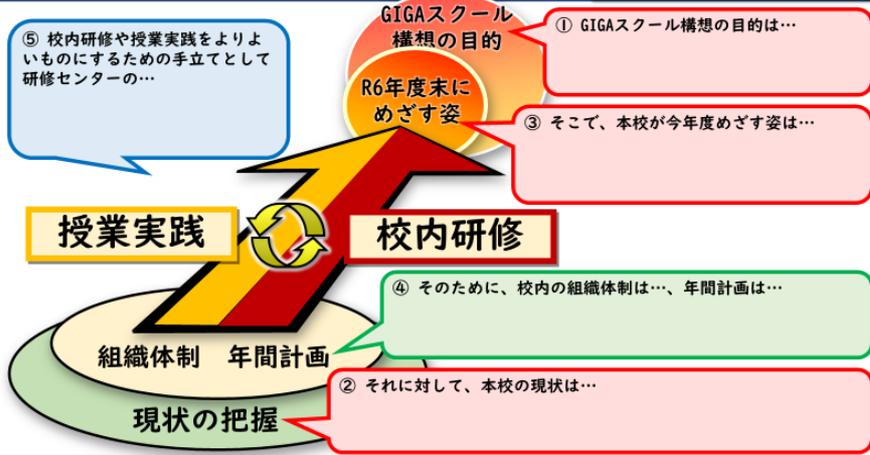
10 GIGAスクールライブラリ……………p.12

11 GIGAに関するサポート……………p.13



全職員に伝える「ビジョン」とは？

ビジョンを構想 ▶▶ 共有 4月



目次

【めざすもの】	
1 GIGAスクール構想の実現に向けて	p.2
2 学びの変容イメージ	p.3
【組織体制づくり】	
3 GIGA校内研修推進リーダーとは	p.4
4 校内組織体制(例)	p.5
【校内研修】	
5 GIGA校内研修の内容(例)	p.6
6 GIGA校内研修のもち方(例)	p.7
【年間計画と実践報告】	
7 GIGA校内研修 年間計画の作成	p.8
8 GIGA校内研修 実践報告の作成	p.10
【研修センターのバックアップ】	
9 GIGA校内研修推進リーダー研修	p.11
10 GIGAスクールライブラリ	p.12
11 GIGAに関するサポート	p.13



全職員に伝える「ビジョン」とは？

現状の把握 めざす姿

- ① GIGAスクール構想の目的は…
- ② それに対して、本校の現状は…
- ③ そこで、本校が今年度めざす姿は…



GIGAスクール構想の目的
R6年度末にめざす姿

I GIGAスクール構想の実現に向けて

GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想の目的
・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する
・これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す

石川県教員総合研修センターにおける教員の ICT 活用推進の強化に向けた取組

GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想の目的

- ・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、**多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する。**
- ・これまでの我が国の教育実践と最先端の ICT のベストミックスを図ることにより、**教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。**

12月3日(火) AM(小学校 Windows) PM(小学校 Google) 取組、進捗、空 他校との情報交換

端末活用基礎スキル研修
(第1日) [オンデマンド配信]
4月16日(火)~5月1日(水)
(第2日) [集合型]
①5月7日(火) PM ②は同じ内容を実施する。
②5月8日(水) PM

校内研修のバックアップ
石川県教員総合研修センター
学校のニーズに応じた指導主事マルチサポートや G I G A 電話サポート、GIGA スクールライブラリ等

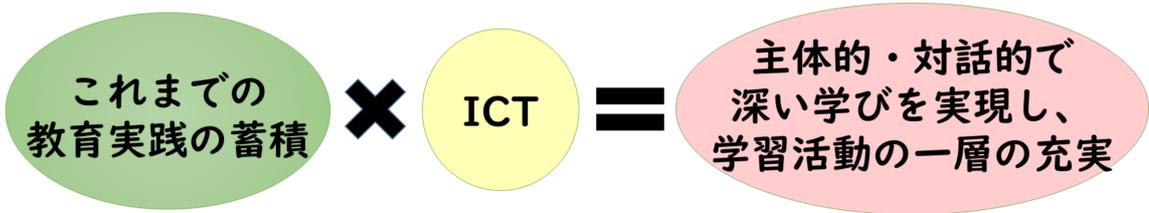
※GIGA 校内研修推進リーダーは、複数名指定することができる。ただし、GIGA 校内研修推進リーダー研修に申し込み、受講するのは、原則、各校1名とする。なお、定時制、特別支援学校等については学校の実態に応じて、複数名を申し込み、受講することができる。

p.2

石川県がGIGAスクール構想で目指すところ

GIGAスクール構想の目的
R6年度末にめざす姿

学びの質の向上



「教員がICTを使って教える」授業から
「児童生徒が1人1台端末を使って学ぶ」授業へと
大きな転換を図る必要がある。

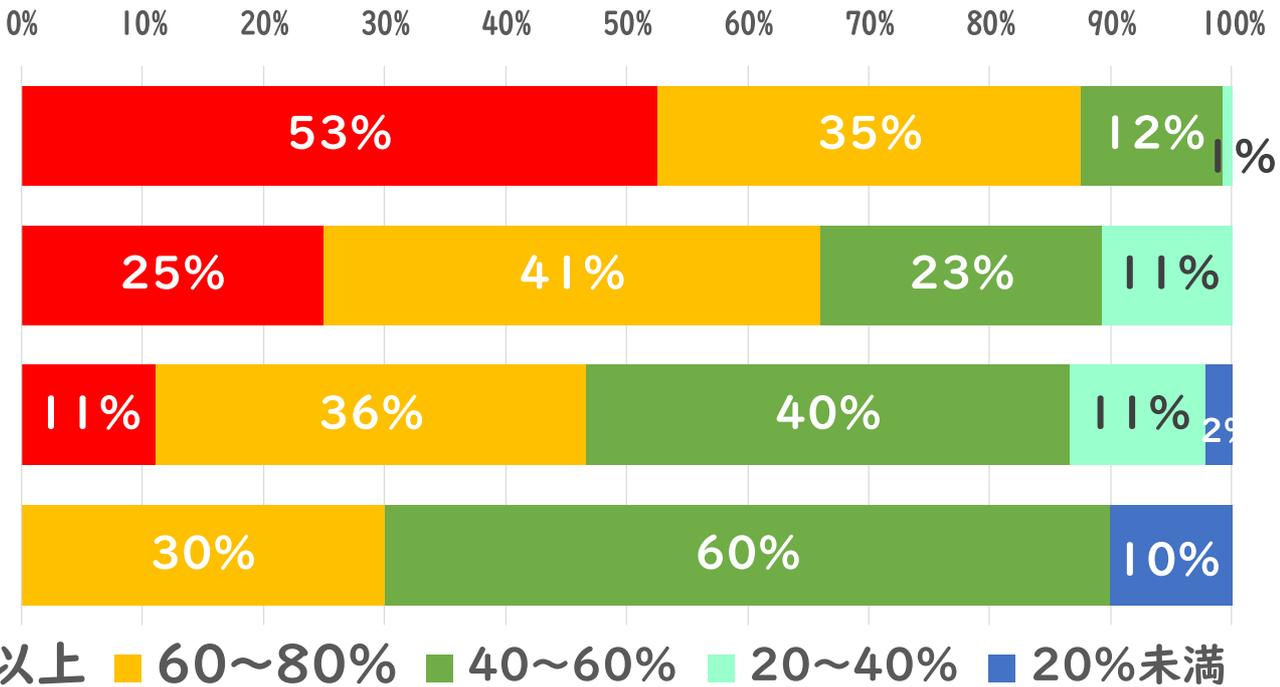
GIGAスクール
構想の目的
R6年度末に
めざす姿

現状の把握



児童生徒が1人1台端末を使うような授業を日常的に実施している先生の割合

(R5.12)



GIGAスクール
構想の目的

R6年度末に
めざす姿

現状の把握

2 学びの変容イメージ

校内研修を進めることによって教員の学びが深まり、ICT 活用指導力が高まります。それによって、児童生徒の学びの質も高まり、資質・能力も一層確実に育成できるようになります。

導入 活用 発展

教員の学びの変容イメージ

協動的な学び

知る・考える
使う・慣れる

授業実践で 高め合う

- 協働学習に活用 ・対話的な学びを支援 ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
- 児童生徒が自ら端末を文房具として自在に使えるような支援
- 児童生徒が問題解決に役立てることができるよう支援

※GIGA 校内研修には、全体研修だけでなく、学年会、教科部会、若プロ等も含まれます。

個別最適な学び

ステージ1 概論、機器・アプリの使い方

ステージ2 授業場面ごとの活用例

ステージ3 教科における授業実践例

児童生徒の学びの変容イメージ

(文部科学省「『未来の学び』構築パッケージ」より)

ステップ1 “すくでも”活かせる！人！台端末

ステップ2 教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

ステップ3 教科の学びをつなぐ。社会課題等の解決や一人一人の夢の実現に活かす。

p.3

令和5年度
GIGA校内研修 実践報告

令和5年度 GIGA校内研修 実践報告

研修日	研修内容	研修者	研修時間
10月10日	ICT活用指導力向上研修	全教員	1時間
10月17日	協働学習実践研修	全教員	1時間
10月24日	個別最適な学び実践研修	全教員	1時間
10月31日	GIGA活用実践研修	全教員	1時間
11月7日	ICT活用指導力向上研修	全教員	1時間
11月14日	協働学習実践研修	全教員	1時間
11月21日	個別最適な学び実践研修	全教員	1時間
11月28日	GIGA活用実践研修	全教員	1時間
12月5日	ICT活用指導力向上研修	全教員	1時間
12月12日	協働学習実践研修	全教員	1時間
12月19日	個別最適な学び実践研修	全教員	1時間
12月26日	GIGA活用実践研修	全教員	1時間

組織体制づくり 年間計画づくり

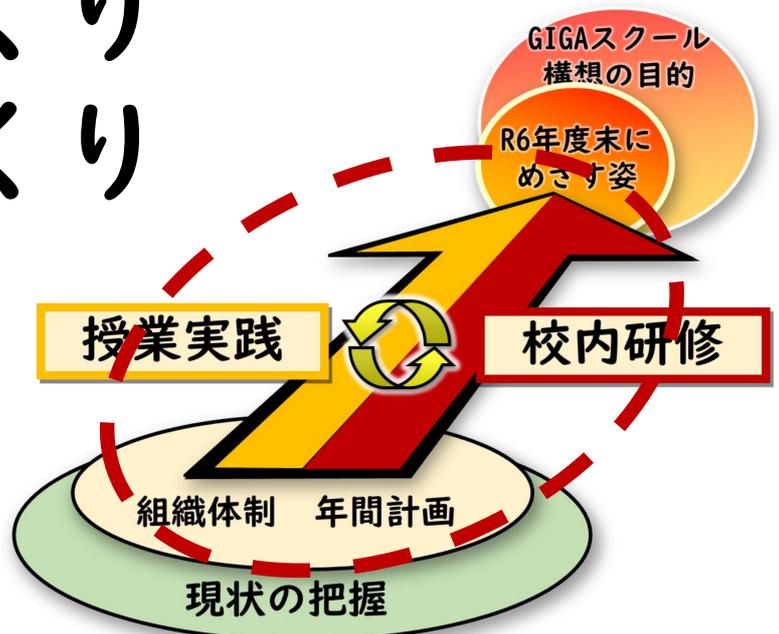
GIGAスクール
構想の目的

R6年度末に
めざす姿



校長先生

④ そのために
校内の組織体制は…
年間計画は…



授業実践 校内研修

組織体制 年間計画

GIGA校内研修推進リーダーが関わる研修は、次の2つです。

GIGA校内研修

..... 実態把握・企画・運営・評価・改善

GIGA校内研修推進リーダー研修

..... 受講・還元

管理職に相談しながら、校内の教員と連携し
研修を進めていきましょう。



3 GIGA校内研修推進リーダー

GIGA校内研修推進リーダーは、各校におけるGIGAスクール構想実現の牽引役です。学習場面における児童生徒のICT活用を促進するために、自校の力を高める校内研修を企画・運営します。

ICTの活用により、
・教科の学びを深めたり、各教科の学びをつなげたりするなど、児童にさせます。
・児童生徒自身がICTを含む様々なツールを駆使し、自在に使いこ

これらを目指し、管理職が整えた校内の組織体制により、次に掲げ、
・各校の実態に即した（実態把握）、GIGA校内研修の企画・運営と
・「GIGA校内研修推進リーダー研修」を受講します。

GIGA校内研修推進リーダーが関わる研修は、次の2つ

GIGA校内研修 実態把握・企画

GIGA校内研修推進リーダー研修 受講・還元

管理職に相談しながら、校内の教員と連携し
研修を進めていきましょう。



授業実践 校内研修

組織体制 年間計画

GIGA校内研修推進リーダーが関わる研修は、次の2つです。

GIGA校内研修

..... 実態把握・企画・運営・評価・改善

※校内の推進リーダーは複数名でも可

推進リーダー研修に申込、受講は、
各校、原則1名が3日間の研修を通して受講
(特別支援学校、定時制等は学校の実態に応じて複数名も可)

3 GIGA

GIGA校内研修推進リ
各校におけるGIGAスクー
学習場面における児童生徒
力を高める校内研修を企画

ICTの活用により、
・教科の学びを深めたり、各
させます。
・児童生徒自身がICTを各

これらを目指し、管理職が整
・各校の実態に即した（実
・「GIGA校内研修推進リ

GIGA校内研

GIGA校

GIGA校内研

管理職に相談しな
研修を進めていき



組織体制づくり「推進リーダーの選出」

G I G Aスクール構想実現の牽引役
児童生徒のICT活用を促進
全教員のICT活用指導力を高める
校内研修を企画・運営



ICT機器を自在に扱う力？

授業づくりの力！
先生方と連携する力！

組織体制づくり「推進リーダーの選出」

G I G Aスクール構想実現の牽引役
児童生徒のICT活用を促進
全教員のICT活用指導力を高める
校内研修を企画・運営



「端末のメンテナンスに追われている。」



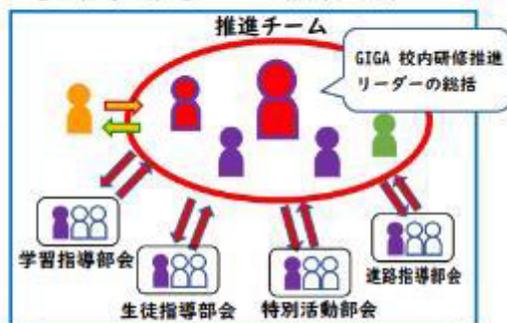
【GIGA 校内研修が計画通り進めることができていた学校の例】

① GIGA に特化した組織をつくる例



ICT の活用が得意な教員と ICT の活用は苦手だけれども、授業づくりの上手い教員も推進チームになることで、わからない教員の困り感などを捉えた校内研修を行うことができます。

② 主任等で推進チームを組織する例



主任等が推進チームになることで校内研修の時間を確実に月の予定に組み込むことができます。高等学校では教科主任で推進チームを組むことで、月に各教科1人ずつ授業を校内で公開することもできます。

4 校内組織体制 (例)

管理職は、昨年度の成果と課題や学校の実態を踏まえ、GIGA校内研修推進リーダーを指定し、推進チームを中心とした校内組織体制を整えます。

GIGA校内研修推進リーダーは複数名指定することができます。ただし、GIGA 校内研修推進リーダー研修に申し込み、受講するのは、原則、各校1名とする。なお、定時制、特別支援学校等については学校の実態に応じて、複数名を申し込み、受講することができます。

【GIGA 校内研修が計画通り進めることができていた学校の例】

① GIGA に特化した組織をつくる例

ICT の活用が得意な教員と ICT の活用は苦手だけれども、授業づくりの上手い教員も推進チームになることで、わからない教員の困り感などを捉えた校内研修を行うことができます。

② 主任等で推進チームを組織する例

主任等が推進チームになることで校内研修の時間を確実に月の予定に組み込むことができます。高等学校では教科主任で推進チームを組むことで、月に各教科1人ずつ授業を校内で公開することもできます。



一人の100歩より、百人の1歩！
「共通理解」と「共通実践」



令和5年度 GIGA校内研修 実践報告

5 GIGA校内研修の内容 (例)

内容例を参考に、学校の実態に合わせて年間計画を立てます。全体での研修、学年会、教科部会、若プロ、研究授業等、既存の研修の機会を活用することもできます。

児童生徒の学びの変容イメージ

(文部科学省「未来の学び」構築パッケージ)より)

ステップ1 「すでに」 “どの教科でも” “誰でも”活かせる！人1台端末

ステップ2 教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

ステップ3 教科の学びをつなぐ。社会課題等の解決や一人一人の夢の実現に活かす。

協働的な学び

知る・考える 使う・慣れる

GIGAスクール構想の実現について理解する。

1人1台端末を活用して、教科の学びを深める。

1人1台端末を活用して、教科の学びをつなぐ。

「GIGAスクール構想」
- 1人1台端末の活用
- 学びに活用ICTを活用した学習環境
- 情報活用能力とは
- 情報セキュリティ
- Chromebookの使い方
- WindowsPCの使い方
- iPadの使い方

教科で1人1台端末を活かす。

教員による教材の提示
- カメラ機能の利用
- 授業資料の共有
- 文章作成ソフトの活用
- プレゼンテーションソフトの活用
- 画板ソフトの活用
- アンケート機能の活用
- 個に応じた学習

共通実践
- 研究授業の共有
- 相互に授業を参観
- 模擬授業
- 他校の視察

協働的な学び
- カメラ機能を使って、考察したことを発表や共有することで学びを深めることができる。
- 学校、学級の壁を越えた交流授業を行うことができる。
- アンケートで集約したデータを文章にまとめて発表するなど、複数の機能を組み合わせることで、短時間で効果的に学びを深めることができる。
- 児童生徒が各自端末を用いて、使用するアプリを選択し、参観することができる。

授業実践の視点
- 児童生徒が自ら発表を促すことができる。
- 教師の時間を減らして、学習事項や調べた知識を用いて問題解決に役立てることができる。
- それぞれの児童生徒が自ら設定した目標に向けて、ICTを活用しながら情報を収集し、整理・分析、まとめ、発表しながら学習の成果や過程を振り返り改善することができる。

6 GIGA校内研修の持ち方 (例)

今まで行ってきた全体での研修、学年会、教科部会、若プロ等の機会を活用し、組織的・計画的にGIGA校内研修を実施します。

① 全体での研修会

- 職員会議や職員終礼後等の短時間で実施するミニ研修
- 外部講師による講義・演習
- 研究授業 (事前研究会・事後整理会)
- 模擬授業 (録画による授業の再現と分析)
- 近隣校と連携した研修
- 学校全体での共通実践
- 先進校の視察を実施し、全体への還元

研修したことの「実践」が大切ね！

実践したことは「共有」しましょう！

② 学年や教科等のまとまりでの研修会

- 学年会での共通実践、意見交流
- 教科部会での共通実践、意見交流
- 優秀マスタースタッフやICT活用動画を視聴し、端末を活用した授業づくりについて交流する。
- 「優秀・マスタースタッフに学ぶ」を受講し、学んだことを交流する。

「よそいき」ではなく、「普段着」の研修にしよう。

あゆみの「失敗」を「共有」してくれたので、うまくできました。おかげでたくさんのお申しありがとうございました！

③ 若プロでの研修

- 日常的 OJT で情報交換
- 定期的研修 (ランチタイム研修等)

④ その他

- 教員相互の授業参観時間の設定
- 県教員総合研修センターの各種サポートの活用
- 先進校への視察

指導要領マルチサポートの申し込み済みです！研修授業案内12A-12.6ページ参照してね。



7 GIGA校内研修 年間計画

「GIGA校内研修 年間計画」を作成し、GIGA校内研修の目標とプロセスを明確にし、以下の様式を参考にA3用紙1枚程度にまとめてください。
※この様式は、各校の実態に合わせて変更することも可能です。

例え、学力向上ロードマップや年間研修計画等を作成していれば、そこにGIGA校内研修を入れて、一元化することも可能です。

令和5年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果 課題

手順① 昨年度の成果と課題を整理する
※令和5年度の年間計画や実践報告などを参考に、自校の昨年度の取組の成果と課題を整理しましょう。

校内研修のアイデア

手順③ 「①成果と課題」から「②目標(めざす姿)」に到達できるように、どのような校内研修が必要か、アイデアを出す
※研修の目的に応じて、研修の形態もいろいろ工夫してみましょう。
例え、常に「全体研修」ばかりではなく「少人数グループでの研修」を実施することも考えられます。参加人数が少なくなる分、参加者のニーズやレベルに焦点化した研修内容にしやすいです。
また、「ビデオ会議」「動画や資料の閲覧」といったICTを活用した研修の形態もぜひ検討してみてください。時間や距離、場所などの制約を超えた研修が実現しやすくなります。
※学校や児童生徒の実態をふまえ、自校の「強み」や「弱み」を整理し、意識することも大切です。

目標「令和6年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

手順② 目標(めざす姿)を考える
※「誰が」「どんなことをできるようにする」のか具体的に描きましょう。
※学校教育目標とのつながりも意識しましょう。
参照:【本冊子】「スタートブック 5 GIGA校内研修の内容(例)」
【文部科学省】「教員のICT活用指導力チェックリスト」「情報活用能力の体系表(例)」

p.8

推進リーダーと相談しながら作成

様式より、「GIGA校内研修 年間計画」の様式及び「GIGA校内研修の進め方(参考資料)」を、ダウンロードできます。

令和6年度 GIGA校内研修 年間計画

立 学校

GIGA校内研修推進リーダー()

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			
5月			
6月			
7月			
中間目標			
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
中間目標			
1月			
2月			
3月			

手順④ 1年間の研修を計画する
※手順③の「校内研修のアイデア」を年間計画に配置、構成しましょう。
※「いつ」「誰が」「どのようなテーマで」をイメージしながら年間の研修を計画していきます。計画しながら「校内研修のアイデア」を追加したり、修正したりしていきます。
※研修に関連する学校研究や学校行事などを行事の欄に記入してご活用ください。

手順⑤ 中間目標を設定する
※学期末などの区切りで、中間目標を具体的に設定しておくことで計画の進捗状況を確認したり、計画を改善したりする目安になります。

手順⑥ 全体を俯瞰し、目標が達成できる計画になっているか再考する
※必要に応じて、計画を加えたり変更したりします。

p.9

研修センターの支援 「研修」「動画ライブラリ」「GIGAに関するサポート」

校内研修や授業実践をバックアップする 研修センターの支援

⑤ 校内研修や授業実践をよりよいものにするための手立てとして
研修センターの…



研修センターの支援「GIGAスクール対応研修」 (管理職・推進リーダー悉皆) スタートブック p.11

月	研修等 (太字…研修センターの研修 細字…校内)
3月 22日	校長研修「校長の役割」(3/22~28) (オンデマンド配信)
年度当初	<input type="checkbox"/> ビジョンを構想 ▶▶ 共有 ・組織体制づくり ・年間計画づくり <input type="checkbox"/> 研修申込締切(4/8)
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践
	4月 22日 副校長・教頭・部主事研修、推進リーダー研修(第1日)「方向性の確認」 ※可能であれば、校長先生もご視聴ください
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践 推進リーダー研修(第2日) (ハイフレックス [ライブ配信または集合型])
6月 17日	「デジタル・シティズンシップ」
7月 31日	「学習者用デジタル教科書」
11月 5日	「個別最適な学びの在り方」
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践
12月	2日 推進リーダー研修(第3日)
	3日 「他校との情報交換(取組報告)」 (研修センター)
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践
2月 28日	実践報告

9 GIGA校内研修推進リーダー研修

目的 GIGAスクール構想の実現に向けた役割を理解し、校内研修を企画・運営する力を身に付ける。

対象 GIGA校内研修推進リーダー(原則、各校1名)

第1日 4月22日(月) (校種別 GIGA 副校長・教頭・部主事研修と合同実施) [ライブ配信]
 ・実践発表
 ・講義「Next GIGA」(※校種別の内容)
 ・協議「校内研修の推進に向けて」(※各校内で協議する。可能であれば校長も参加)
 ・準備する物 令和6年度 GIGA校内研修 年間計画

↓ 所属校 校内研修 授業実践

第2日 [ハイフレックス(集合型または、ライブ配信から選択)]
 各校の教育課題に応じて、以下より1つを選択する。
 ・6月17日(月)PM 内容 デジタル・シティズンシップ
 ・7月31日(水)PM 内容 学習者用デジタル教科書
 ・11月5日(火)PM 内容 個別最適な学びの在り方
 ※令和3~5年にGIGA校内研修推進リーダー研修を受講していない場合は、集合型を選択することが望ましい。

↓ 所属校 校内研修 授業実践

第3日 12月2日(月)<AM 高・特> <PM 中> [集合型(教員総合研修センター)]
 3日(火)<AM 小 Windows> <PM 小 Google> (校種別※小学校は隔年実施)
 ・グループ協議「これまでの取組を終えて」
 ・講義「次のステップに向けて」(※校種別の内容)
 ・準備する物 校内研修の取組を総括した発表資料(成果と課題)

↓ 所属校 校内研修 提出物 実践報告(締切:令和7年2月28日)

研修申込締切
 4月8日(月)

研修センターの支援「GIGAスクール対応研修」 (管理職・推進リーダー悉皆) スタートブック p.11

月	研修等 (太字…研修センターの研修 細字…校内)	校長	教頭	リーダー	職員
3月 22日	校長研修「校長の役割」(3/22~28) (オンデマンド配信)	◎			
年度当初	<input type="checkbox"/> ビジョンを構想 ▶▶ 共有 ・組織体制づくり ・年間計画づくり <input type="checkbox"/> 研修申込締切(4/8)	◎	○	○	○
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践				
	4月 22日 副校長・教頭・部主事研修、推進リーダー研修(第1日) (ライブ配信)「方向性の確認」 ※可能であれば、校長先生もご視聴ください				
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践 推進リーダー研修(第2日) (ハイフレックス [ライブ配信または、集合型])				
6月 17日	「デジタル・シティズンシップ」				
7月 31日	「学習者用デジタル教科書」				
11月 5日	「個別最適な学びの在り方」				
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践				
12月	2日 推進リーダー研修(第3日)				
	3日 「他校との情報交換(取組報告)」				
	<input type="checkbox"/> 校内研修 ⇨ 授業実践				
2月 28日	実践報告				

9 GIGA校内研修推進リーダー研修

目的 GIGAスクール構想の実現に向けた役割を理解し、校内研修を企画・運営する力を身に付ける。

対象 GIGA校内研修推進リーダー(原則、各校1名)

第1日 4月22日(月) (校種別 GIGA 副校長・教頭・部主事研修と合同実施) [ライブ配信]
 ・実践発表
 ・講義「Next GIGA」(※校種別の内容)
 ・協議「校内研修の推進に向けて」(※各校内で協議する。可能であれば校長も参加)
 ・準備する物 令和6年度 GIGA校内研修 年間計画

↓ 所属校 校内研修 授業実践

第2日 [ハイフレックス(集合型または、ライブ配信から選択)]
 各校の教育課題に応じて、以下より1つを選択する。
 ・6月17日(月)PM 内容 デジタル・シティズンシップ
 ・7月31日(水)PM 内容 学習者用デジタル教科書
 ※令和3~5年にGIGA校内研修推進リーダー研修を受講していない場合は、集合型を選択することが望ましい。

↓ 所属校 校内研修 提出物 実践報告(締切:令和7年2月28日)

令和3年~5年に1度も、推進リーダー研修を受講していない場合は、集合型を選択することが望ましい。

石川県教員総合研修センター 研修講座リーフレット 2024

この研修講座リーフレットには、令和6年度に石川県教員総合研修センターが実施する研修のうち、①研修受講に係る「研修 My Page」の使用方法(実施要項・配付資料の取得やアンケート回答等)についての情報、②教職員が自由に選択・受講できる、希望研修(教科等研修・教育課題研修)及びGIGAスクール対応研修(端末活用基礎スキル研修)の基本情報が記載してあります。希望研修受講の際の参考にしてください。

このリーフレットは多岐に亘って「研修 My Page」を適切に活用してください。

石川県教員総合研修センター「研修 My Page」

- Step 0** 基本情報を入力する
「研修 My Page」にログイン>「研修情報入力」で基本情報を入力する p.1
- Step 1** 研修履歴を確認する
「研修 My Page」>「履歴確認」で昨年度までの研修受講履歴を確認する p.2
＜当初画面＞対話に基づく受講奨励
- Step 2** 研修を調べる
リーフレット(pp.5～11)で今年度の希望研修を確認する p.2
- Step 3** 研修を選ぶ
「研修 My Page」>「研修講座一覧」から詳細な研修情報を確認し、今年度受講する研修講座を選択する p.3
研修申込
- Step 4** 研修内容を確認する
「研修 My Page」>「受講決定済研修講座(実施要項)」。「マイキャビネット」から、研修実施日の14日前に実施要項を確認し、事前課題や資料等を取得する p.3
研修受講
- Step 5** アンケートに回答する
「研修 My Page」>「アンケート」から回答する p.4
※受講した研修講座がアンケートも実施する場合のみ
- Step 6** 振り返りを記録する
「研修 My Page」>「研修情報入力」から、今年度受講した研修講座の振り返り等を記録する p.4
＜期末画面＞校長との対話(指導・助言)を受け、次年度の質向上の方向性などを確認

令和6年度 希望研修等研修講座一覧表 p.5～11

各教科における 1人1台端末を活用した授業づくりについて 学ぶことができる研修

教科等研修

講座番号	研修講座名	日時・会場・講師 ※特に記載がない場合、会場は県教員総合研修センターです	※
51011100 GIGA	[小・国語1] 学びを楽しみながら力を付ける授業づくり ～「書くこと」領域～	[第1日][オンデマンド配信1回] 高岡校 9月10日(火)～9月20日(金)	教員
51011200 GIGA	[中・国語1] 生徒のやる気を引き出す授業 ～「書くこと」領域～		国語(中)
51011300 GIGA	[高・国語1] 「何ができるようになるか」づくり～書く力の育成に向		国語(高)
51013100 GIGA	[小・国語2] 子供が学びを深めていく国語		教員
51013200 GIGA	[中・国語2] 生徒の本気を		国語(中)
51013300 GIGA	[高・国語2] 学習指導要領をふまえた授業づくり	7月8日(月) 9:30～16:30 独立行政法人教職員支援機構次世代型 教職員研修開発センター研修開発課 課長補佐 近内 貴巳	国語(高)



10 GIGAスクールライブラリ

GIGAスクールライブラリ(「スマートスクールネット」>「オンライン研修」に掲載)に、自由に学ぶことができるオンデマンド動画やGIGA校内研修の参考となる資料があります。
※スマートスクールネット用のID・パスワードをご準備ください。なお、臨時的任用講師、再任用教諭等については、各校に付与しているゲストIDを用いてログインして下さい。

個別最適な学び

導入 活用 発展

ステージ1 概論、機器・アプリの使い方
ステージ2 授業場面ごとの活用例
ステージ3 教科における授業実践例

・GIGAスクールライブラリのオンデマンド動画リスト

GIGAスクールライブラリ

Google(Chromebook) Teacher Center
Microsoft(WindowsPC) Microsoft教育センター

p.12

オンライン研修

オンデマンド動画の再生速度が変更できるようになっています。ブラウザの拡張機能「GIGA CH」をご利用ください。

GIGAスクールライブラリ

特別研修 GIGAスクール対応研修
41040100 「新たな授業づくり研修」に係る動画

オンデマンド配信
ライブ配信

ライブラリ

令和5年度 GIGA校内研修 実践報告
令和6年度の研修計画を立てる際の参考にしてください。

小学校
中学校
高等学校

GIGA校内研修推進リーダー講習
8月に実施した「GIGA校内研修に関する調査」において、各学級GIGA対応研修で実施していただく(受講があった)事例を校種別にまとめました。※同じような内容は、まとめています。

小学校 中学校 高等学校・特別支援学校

PDFでダウンロードする場合はこちら

情報活用能力の育成に関する参考資料
情報活用能力の育成
文部科学省
情報活用能力の育成実践例(15 School)における事例内容を基にステップ別に整理したものです

全体 スラッシュ1.pdf スラッシュ2.pdf スラッシュ3.pdf スラッシュ4.pdf スラッシュ5.pdf

II GIGAに関するサポート

GIGAスクール構想実現に向けた各校の校内研修及び教員の授業づくりを応援します!!

1 指導主事マルチサポート

今年度、「指導主事派遣サポート」と「GIGA出前サポート」を統合して、「指導主事マルチサポート」が始まりました。「オンライン」で実施するサポートの充実も図ります。

GIGA

に関するサポートもOK!

学校のニーズに応じてカスタマイズ

一人からでも受講可能



各校種・各教科に対応します。
地域全体や少人数など様々な人数に対応します。
研修申込システム内の「サポート仮申込」よりお申し込みください。

令和6年度より、「指導主事派遣サポート」と「GIGA出前サポート」を統合



「指導主事マルチサポート」

「オンライン」で実施するサポートの充実も図ります。

2 GIGA電話サポート

GIGAスクール構想の実現に向けて、各校で実施される校内研修計画の企画・運営等について、電話で相談を受けます。GIGA校内研修推進リーダーや管理職で困っていることがあればご相談ください。

GIGAスクールサポート課
076-298-1613(直通)



おわりに

「校長先生に行っていたいただきたいこと」



校長先生



おわりに

ビジョンを構想 ▶▶ 共有 4月当初

研修申込を確認 締切 4月8日(月)

・ 推進リーダー研修に申込、受講するのは原則、各校1名

積極的な助言・支援 通年

・ 授業などを参観し、良好な取組に価値付けして、全体へ発信するなど

管理職の先生の役割

ビジョンを構想 ▶▶ 共有
4月当初



副校長先生
教頭先生
部主事先生

研修申込締切
4月8日(月)



推進リーダー



GIGAスクール
構想の目的

R6年度末に
めざす姿



全教職員

積極的な助言・支援 通年

授業実践

校内研修

組織体制 年間計画

現状の把握